

京滋コンクリート診断士会 第2回研修会のご案内

平成 21 年 7 月 31 日

会員各位

京滋コンクリート診断士会
会長 長谷川光弘

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は京滋コンクリート診断士会の運営に特別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

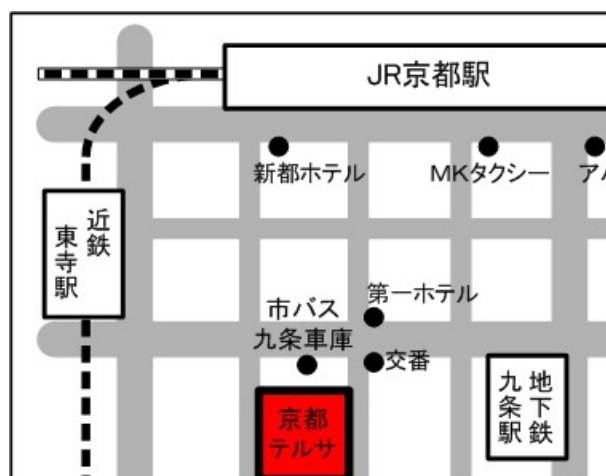
さて、当会も設立から約1年が経ちました。これも一重に会員ならびに関係各位のお陰と感謝致しております。そこで諸事業の一環として京都大学教授の田中仁史先生、西山峰広先生に講師をお願いして、下記の通り第2回研修会を企画しましたので、会員の皆様にご案内させていただきます。

参加ご希望の方は、下記の案内に従って所定の参加申込手続きを8月25日までにお済ませください。尚、日頃聞けない建築の話です。一般の方々 会員でない方の参加もお待ちしております。

敬具

記

- 日 時：平成 21 年 9 月 1 日（火）
- 場 所：京都テルサ東館 B・C 会議室（3 階）
- 時 間：14 時 45 分～16 時 45 分
- 講師・演題：（プログラム詳細は裏面に記載）
 - 西山峰広教授（京都大学工学研究科建築学専攻 建築構法学講座）「構造形式の規制概念を変える—S造、RC造からPC造へ—」
 - 田中仁史教授（京都大学防災研究所地震災害研究部門構造物震害研究分野）「RC超高層ビル設計におけるコンクリート特有の問題点」



- 会 費：3 千円

当日、会場にてお支払いください。尚、会員の方は次年度年会費の支払いもお受けします。

- 定 員：研修会は約 100 名を予定しています。多数の場合は先着順と致します。
- 参加申込書：下欄にご記入のうえ、Eメールにて（文書添付 or コピーペーストどちらでも可）
info@kscd.jp までお送り下さい。

会員種別・No 氏名	勤務先 略名称	研修会	懇親会	連絡事項など

※会員種別、No は HP 会員名簿をご参照ください。

■ プログラム

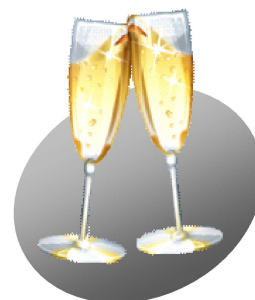
14:45～14:50	開会挨拶 京滋コンクリート診断士会会長 長谷川 光弘
14:50～15:40 (質疑応答含む)	「構造形式の規制概念を変える—S造、RC造からPC造へ—」 西山峰広教授 (京都大学工学研究科建築学専攻建築構法学講座) 建築を取り巻く社会情勢に始まり、鉄骨造、鉄筋コンクリート造及びプレストレストコンクリート造の構造形式としての比較、コンクリート系構造形式を利用する為の技術開発の紹介、これまで実際にコンクリート系構造形式を建物に利用した例についてのお話です。
15:40～15:50	休 憩
15:50～16:40 (質疑応答含む)	「RC超高層ビル設計におけるコンクリート特有の問題点」 田中仁史教授 (京都大学防災研究所地震災害研究部門構造物震害研究分野) 超高層建物は、1963年に建築基準法の高さ制限が廃止されたことを契機に建設が開始されたが、日本最初の超高層ビルといわれる霞ヶ関ビル(1968年にオープン)は鉄骨造であった。1972年頃から超高層RC住宅が出現し、1992年頃からはCFT(コンクリート充填鋼管柱)の適用例が増え、高強度コンクリートの実用化が進んだ。2014年度内の完成を目指す日本一の高さを誇る建物を例に、これら超高層建物の柱に使用される超高強度コンクリートの耐火性、クリープ性状、力学的特性についてのお話です。
16:40～16:45	閉会挨拶

●●●●●●●● 懇親会のご案内 ●●●●●●●●

当日 17 時より東館1階レストラン「朱雀」にて懇親会を開催します。

みなさまの交流の機会に奮ってご参加ください。

参加ご希望の方は会費として会員2千円、非会員3千円を研修会会場受付で承ります。



研修会費・懇親会費キャンセル料にご注意ください

会場予約の精算の都合により、研修会・懇親会の予約の取り消しは前日 5 時までとさせていただきます。当日キャンセルされる方は会費と同額のキャンセル料を振込にてお支払いいただきます。悪しからずご了承の上、キャンセルされる場合はお気を付け下さい。